

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[尾花沢市立常盤中学校] 担当教諭名[阿部 千恵子] (3年1組 15名)
 交流相手国[アメリカ]
 海外学校名[Scales Mound Community Unit District #211] 担当教諭名[Karen Kelly]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	自文化・異文化理解と国際交流	22

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	世界平和
絵に込めたメッセージ	水と緑に囲まれた真中の地球はハートで包まれ、互いの文化の尊重が世界の平和を育てるところを示しています。絵柄は、一人ひとりが日本文化を調べ、全体で描きたいものを選び直し、分担して描きました。それぞれが対応しています。国境を越えた世界の広がりを表す空には、平和の鳩が飛んでいます。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
自分の国の文化を改めて見直すことが出来たこと。そして、他国の文化を感じての意外性や発見の喜び、さらに多くの事を知りたいという意欲が出たこと。外国語が身近になったこと。さらには、活動を積み重ねて行くたびに、生徒の動きが早くなって行き、判断力・決断力が身についてくる様子が実感できた。	時差を考えると、テレビ会議は相手の国によっては難しいと思った。中学3年生は受験生でもあり、常にせわしない現場にいて、活動を確保するためには早め早めに計画することだと思った。美術担当でも英語担当でもないことに当初は不安を感じた。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
校内の生徒会室に制作途中や完成した壁画を置いておき、自由に全校生徒が見ることができるようにしておいた。文化祭では、保護者や地域の方にもこれまでの取り組みの様子も含めて見ていただいた。卒業式に合わせて式場に掲示し、保護者・来賓の方に見ていただく予定。	他の学年からは、うらやましいという声をたくさんもらった。全校生徒を前に総合の時間に発表会を行った際にも、真剣に話を聞いてくれた。文化祭に向けて生徒会室に掲示した時には、保護者の方も含め、送られてきた他国のグッズやゲームに関心が集まっていたようだ。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	8月	国際交流壁画について 自己紹介文を書こう 相手校の生徒を知ろう	内容を聞き、一人一人がやってみたいことがたくさん出てきた。自己紹介文を簡単な英文で書く事が出来た。相手の自己紹介カードに興味を持つことができた。	総合5
情報収集	9月	日本のものを贈ろう 日本文化を知ろう 日本文化を紹介しよう	日本らしさがある身近な物を贈り物にしようと提案すると、嬉しそうに考え始めた。また、日本の文化を紹介する活動にも、大変意欲的な取り組みであった。一人一人が英文まで良く考えた。	総合5
テーマ検討	10月	相手の文化を知ろう 構図を考えよう 構図について意見を交流しよう	相手校より、アメリカの紹介ビデオが届き、集中して見ていた。贈り物には、歓声をあげ、遊んだり本を読んだり食べたり。実物の効果の大きさ感動。体験させる大切さを実感した。構図案の交流はスムーズに進む事ができた。	総合5
制作	11月	絵の分担をしよう 絵を完成させよう 自分たちで完成した絵を鑑賞しよう	どの部分を描くかも、スムーズに決まり、下書きにも本書きにも、普段美術が得意でなさそうな生徒も含め全員が楽しそうに取り組んでいた。完成した絵を眺め、皆満足そうであった。	総合5
鑑賞	2月	振り返りの活動をしよう 戻ってきた絵を鑑賞しよう	活動を通して得たものに、予想以上にたくさんの視点から書いていた。後輩からの称賛が生徒の誇りになったようだ。最後の感謝のカード作りにも真剣に取り組んでいた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	日本の文化を紹介しようとして、改めて身近な物や、文化遺産や動植物など、多くの視点から生徒は考えていた。
異文化の理解	A	5	特に実物として贈り物が届き、食べたり、遊んだり、自己紹介カードを見たりして、生徒の関心がぐっと深まっていった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	当初、英語が苦手だったり、尻込みしていたりした生徒も、活動を重ねるごとに、意識が高まり進んで活動するようになっていった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	日本からの贈り物の紹介や日本文化の紹介の際に、インターネットを上手く活用していた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	何を紹介するかを考えたり、英語での紹介文を考えたりを繰り返すごとに、学級内での話合いや交流が活発化していった。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	絵を描く際に、絵の具の共有や、狭い場所での譲り合いが必要になったが、自然に良い雰囲気での活動できた。
学習を追究する意欲	B	4	途中で意欲が途切れることなく、多くの活動を時間内でこなすことができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	C	4	絵に対し、苦手意識を持つ生徒もいるが、全員が楽しく描くことができたことが、大変うれしかった。
作品を鑑賞する力	C	4	上手へたにこだわらずに、一人一人が、満足感をもって、鑑賞していた。完成したことへの喜びがあふれていた。